



つがる市議会だより

平成31年 第1回(3月)定例会 第61号 令和元年5月発行
の内容をお伝えします



つがる物語

津軽新田発祥の地
柏地区 柏の木

つがるためのふこう
弘前初代藩主である津軽為信公は領内巡視の際、萱原から立ち上る煙を頼りにたずねてみると3軒の庵のそばに柏の木がありました。先住の浪士らは思いがけない来客に喜び、精一杯のおもてなしをすると、為信公は浪士らの望みである津軽新田の開発を図り、この地を広須村と名付けました。

旧柏村の由来となった柏の木は樹齢およそ300年の2代目であり、その伸ばした枝と先人たちの並々ならぬ努力によって開拓された田園はつがるの風景のひとつとなっています。

場所：広須農村公園
JR木造駅から車で5分ほど



目次

- 2～3 定例会の概要
- 4～5 新年度予算の内容が決まりました
- 6～8 一般質問 6議員が市政を問う
- 9～10 予算特別委員会の概要
- 11 指定管理者一覧、陳情
- 12 気になるワード